

こう きょう じ ぎょう

# 公共事業ってなんですか？



橋、道路、港、水道管…  
これらは社会資本  
なんだね～

空港、鉄道、ダム…これらは、みんなの財産!! つまり社会資本です。これらの社会資本を、国などが中心になってつくることを、「公共事業」といいます。こうして見ると、公共事業でつくった物がいっぱいありますね。現在ある物も、新しく作る物も、大事に使って長持ちさせなければなりません。「古くなったらつくり直す」そんな時代は終わりました。

## 電気・通信

ここよく便利に暮らすために必要

「蛍の光、窓の雪」…それは昔。現在はスイッチひとつで電気がつきます。渋滞情報・雨量情報・地震情報は、すぐに日本中に伝えられます。

## 水

がなくては生かれない!!

じゃ口をひねると水が出ます。100%の家庭に飲み水が引かれ、使った後はきれいにして川に帰します。でも世界の約半分の人々の家には今でも飲める水が引かれていません。ダムの水は農業や工業にも使われます。

## まちづくり

暮らしやすさ  
喜ぶ人々の笑顔がいつまでも続くように

便利に快適に暮らせ、自然がいっぱいの豊かな街をつくるには、地域住民の意見を取り入れながら行われなければなりません。身近な公園などの施設は、完成後も地域住民の手で清掃したり、管理をして行くことが増えています。

## 鉄道 大量輸送と地域の発展を支えてきた

日本中を走って人々の暮らしを支える鉄道は、省エネで環境に優しい輸送手段として近年、注目されています。

## あって当たり前と 考えていないかな？

このような便利で安心できる暮らしは、その多くを戦後のわずか60年あまりでつくってきたんじゃ。これからは、古くなった社会資本を大事に活用しなければならぬじゃよ。自然をこわさず、だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりが大切じゃからな!!

わ～い!!  
ボクたちはすごく  
めくまれた便利な  
国に生きて  
いるんだ!!



## 山 水害や土砂災害を防ぐ

大昔から人々は燃料の薪をもとめて山に入り、木を切って家を建てて生活をしてきました。気がつくや各地の山はハゲ山となり、土砂災害が多発していました。それから100年を過ぎた今でも、山に木々を植え、森林を守り、砂防ダムをはじめとするさまざまな防災対策に取り組んでいます。

## 公園 子供たちが安全に遊べるみんなの安らぎの場所

どこの街にもきっとある公園は、身近な公共施設です。ゴミなどを捨てないできれいに使いましょう。都会の暮らしにも木々の潤いが必要です。

## 港・空港 世界へ直結

資源を海外から輸入し製品を輸出してきた、輸出国の日本の発展を支えてきたのが港です。明治の文明開化の頃つくり始められた神戸港は、大型の貨物船も岸につくことができる水深の深い岸壁です。また関西国際空港は、二期工事が完了し世界へと飛び立ちます。

## 道 産業を支え人の出会いをもたらした

海でとれた魚はその日にスーパーに並び、宅配便も全国へ翌日配達です。山の多い日本では、トンネルと橋の建設、そして高速道路がそれを可能にしました。いざという時には救急車がすぐ来てくれます。

## 川・海 すべての生命を育む一方で危険をもたらした

山に降った雨は木の根元にたくわえられ、川へ流れて産業や人、生き物に水をあたえ、さらに海へ伸びます。一方、命の水は、時には恐ろしい存在に変わります。ゲリラ豪雨や台風でおこる川の氾濫、海岸の侵食・高潮などへの対策が、これからも欠かせません。